

関係各位

レンゴー株式会社
 広報部広報課

オートル社とのパッケージ・ライセンス、海外適用エリア拡大で合意

レンゴー株式会社（本社：大阪市北区 社長：大坪 清）は、フランスの製紙・段ボールメーカーであるオートル社（OTOR S.A. 社長 Jean-Marie Paultes）と、同社が保有するパテント段ボールケースの使用許諾および同ケース製造用包装機械のライセンス契約対象地域を、従来の日本・中国・インドネシア・フィリピン4カ国に加え、タイ・ベトナム・ラオス・カンボジア・マレーシア・シンガポールの東南アジア6カ国も対象とすることで合意いたしました。

当社では、オートル社の持つ優れたパテント製品群をベースに、独自の包装技術ノウハウとさまざまなマーケティング情報を加味した「はい！バリューパッケージ」シリーズを国内で展開してまいりました。同シリーズは、環境機能と販促機能を両立し包装から店頭にいたるまで、あらゆる場面でハイバリューを生み出す新しい時代の外装パッケージとして注目されており、今後は、中国・東南アジア合計6カ国23の段ボール工場のネットワークを活かして、海外における同シリーズへのニーズにも的確に応えてまいります。

◆オートル社の概要

会社名 : オートル社 (OTOR S.A.)
 本社 : 8 Terrasse Bellini, 92800 Puteaux, France
 社長 : Jean-Marie Paultes
 資本金 : 22 百万ユーロ (約 24 億円)
 年商 : 315 百万ユーロ (約 350 億円) ※1 ユーロ=約 110 円
 従業員 : 1,560 人
 工場 : 段ボール 9 工場 (うち製函のみ 3 工場)、製紙 2 工場、包装機械 1 工場
 生産量 : 段ボール 約 7.5 億㎡/年、製紙 約 13 万ト/年

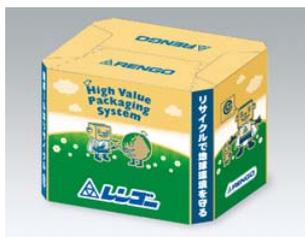


◆あらゆる場面でハイバリューを生み出す「はい！バリューパッケージ」シリーズ

<http://www.rengo.co.jp/products/cardboard.html#pg>

「はい！バリューパッケージ」とは、包装から店頭にいたるまであらゆる場面でハイバリューを生み出す新しい時代の外装パッケージです。段ボール箱側面の四隅をカットし、コーナーの数を増やすことで強度を高めるとともに使用材料を節減することが可能になります。また、パレットへの積み付け効率の向上で輸送費が低減するほか、コーナーカット部分にも印刷可能なことから高いディスプレイ効果が期待される等、さまざまな特徴を有しています。

・オートル 8



・高いディスプレイ効果

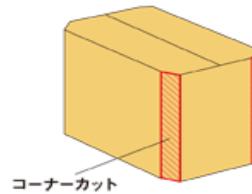


・荷崩れしないスタッキング機能



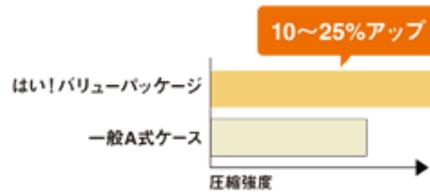
販売促進効果

- コーナーカット部分も印刷可能
- 様々な情報発信ツールとして販売促進効果大



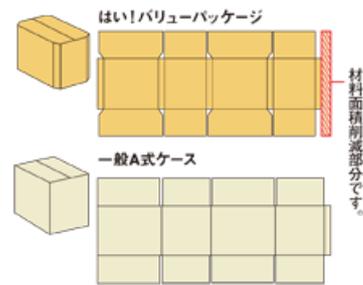
強度アップ

- 成形精度を高め強度品質を安定化
- コーナーカットにより強度をアップ
- 棒積みを可能にするスタッキング機能



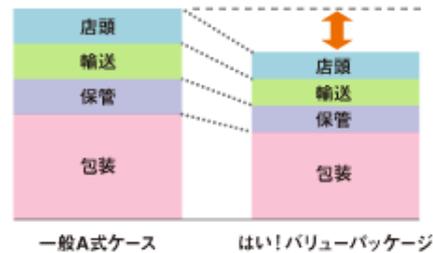
環境性能

- コーナーカットによる材料面積削減で省資源化を実現



トータルコストダウン

- ラインでの生産性向上
- 倉庫内や店頭での荷扱い作業軽減



以上